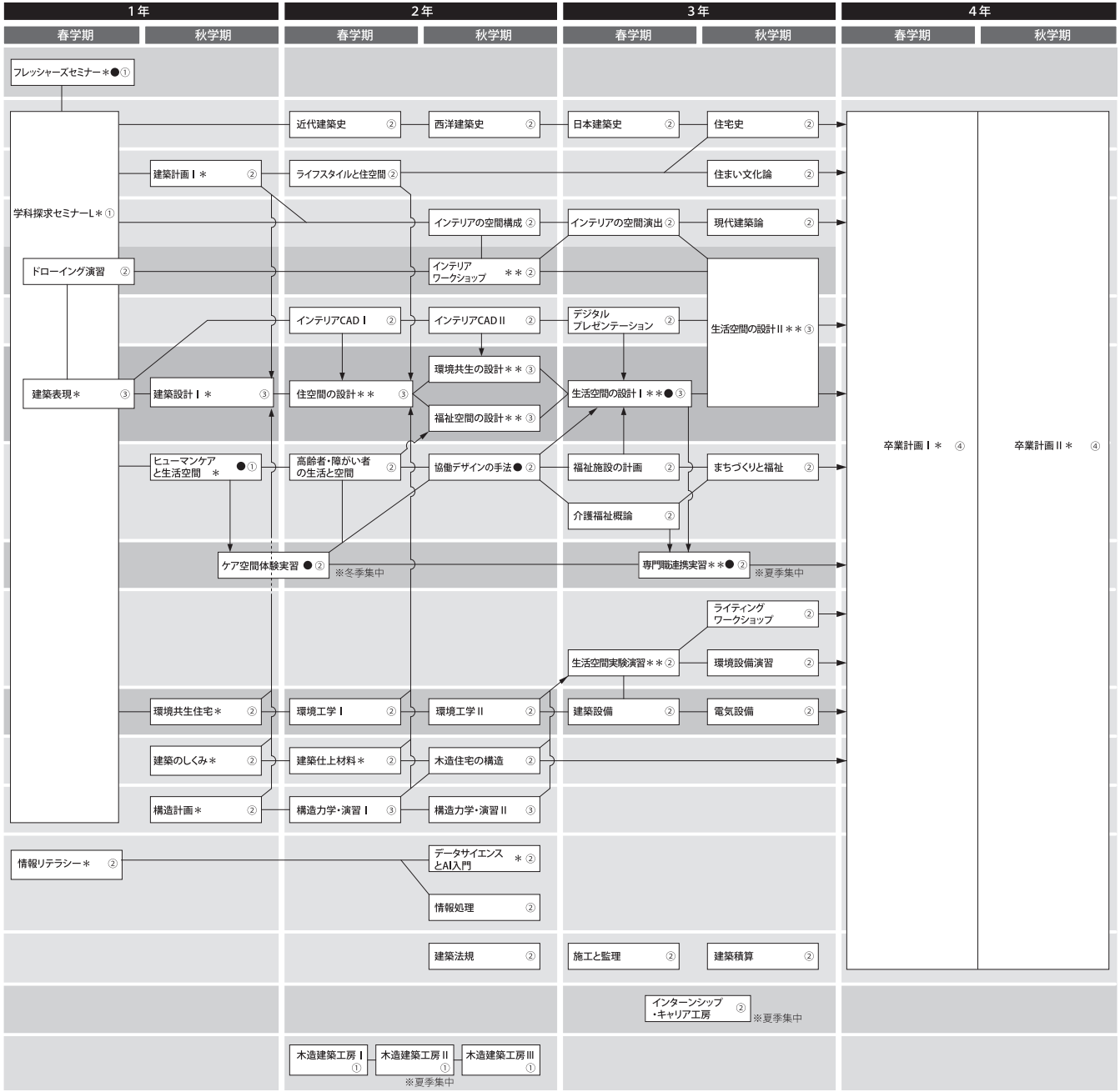
建築学科 生活環境デザインコース カリキュラムマップ

＊：必修科目（27単位）　＊＊：選択必修科目（８単位以上）　● 彩の国連携力育成プロジェクト関連科目

科目群の学習・教育目標

導入科目	将来につなげる大学での学びについて、および建築の多様な専門分野の概要について理解を深める。
建築史	建築や住宅の歴史を学び、それらを生み出した社会的構造を背景として考えることで、時の流れを超えてグローバルな視点から現代の空間を理解する基盤を築く。
計画	快適で使いやすい空間を創造するために、人の生活・活動・行為との関係を理解するとともに、その文化的・社会的背景について学ぶ。
デザイン	インテリアおよび建築のデザインについて、その特性を理解し実践するための理論と知識を学ぶ。 **演習・制作**　空間や立体物の特徴をとらえ、手を動かして表現したり構想を具現化するためのスキルを学び、身につける。
CAD	CADを用いて三次元の立体や空間の図面を描き、魅力的なプレゼンテーションを作成する能力を修得する。
設計製図	多様な専門知識を総合し、設計条件に対する的確な提案を導き、適正なスケールを伴った建築空間としてまとめる構想力を身につける。 図面を用いて空間的な思考を行うとともに、正確かつ魅力的に建築空間を表現し、他者とコミュニケーションをとる力を修得する。
福祉空間	高齢者や障がい者を含む誰もが安心して快適に暮らせる空間デザインに関する理論を学び生活の中での問題を改善し新たなニーズに応えることができる知識と思考力を身につける住宅や施設の設計からまちづくりまで、生活をトータルにサポートする空間づくりを行うための力を養うまた、様々な人と連携して課題を解決するための知識・技術を身につける。 **体験・実習**　医療・福祉の現場での実習・体験を通じて、人と向き合う態度や連携する技術を身につける。
実験演習	建築・インテリアで用いられる仕上げ材料および構造材料、空間の環境的特性など空間に関わる性能・性質を実験や演習により検証し、分析・考察することができる。
環境・設備	建築および都市空間に関わる環境的な現象・問題と設備のしくみについて理解し、環境に配慮した人と地球に優しい空間を計画することができる。
材料・構法	建築・インテリアを構成するさまざまな材料の特性と性能について理解するとともに、住宅規模の構造・架構形式について学ぶ。
構造	安全な建築を実現するために、建築物に生じる力学的な現象を把握し、応力と反力の計算方法を修得する。
情報技術	コンピューターやネット環境などを使うための基礎と、研究や分析・解析に応用する技術を修得する。
実務的知識	建築に関わる社会的制度や現場の業務など、建築の実務において必要な知識を身につける。
キャリアデザイン	さまざまな職種の職業性について学び、自分の将来像を幅広く展望した上で、卒業後の進路について自ら考え決定することができる。
カレッジマイスタープログラム	建設プロジェクトの企画・設計から、実施・完了までの一連の工程を通して、計画実現に向けたチームによる課題解決方法やプロジェクト運営方法を修得する。